

愛知県地域保健医療計画（精神保健医療対策）について（平成25年3月策定、計画期間：平成25～29年度）

計画に記載された「今後の方針」	平成28年度までの進捗状況及び今後の予定						
1 予防・アクセス（及びうつ病） ① G-Pネットについて、参加する医療機関を増やしていく。	① 精神科医と一般かかりつけ医の連携を進めるため、愛知県精神科病院協会に委託し、 精神科医と一般かかりつけ医地域連携会議 を開催。（平成28年度 開催回数 3回、参加人数 約80名）						
目標値 G-Pネット登録数 精神科診療所 8か所 → 50か所 一般診療所 60か所 → 300か所	G-Pネット登録数（29.2.28現在） 330か所 <table style="margin-left: auto; margin-right: auto; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <tr> <td style="padding: 2px;">精神科診療所</td> <td style="padding: 2px;">43か所</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">一般診療所</td> <td style="padding: 2px;">187か所</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">その他</td> <td style="padding: 2px;">100か所</td> </tr> </table>	精神科診療所	43か所	一般診療所	187か所	その他	100か所
精神科診療所	43か所						
一般診療所	187か所						
その他	100か所						
2 治療・回復・社会復帰 ① アウトリーチの充実やデイ・ケア施設の整備に努めていく。 ② 「1年未満の入院者の平均退院率76%」の目標達成を目指す。	① ・アウトリーチの充実を図るため、 アウトリーチ普及啓発講演会 を、愛知県精神障害者家族会連合会に委託して開催。（平成28年度 開催回数 1回）。 ・国補助金を活用した デイ・ケア施設の整備 を継続。 <div style="border-left: 1px solid black; padding-left: 10px; margin-left: 20px;"> 平成28年度実績 杉田病院（名古屋市千種区） 定員50名 (27、28年度の2か年整備) 精治寮病院（名古屋市昭和区） 定員50名 (27、28年度の2か年整備) 東春病院（春日井市） 定員67名 (28年度整備) </div>						
目標値 1年未満の入院者の平均退院率 74.7% → 76%	1年未満の入院者の平均退院率 平成27年度（調査年度） 76.5%						
3 精神科救急 ① 精神科救急医療体制について、当番病院の後方支援を行う後方支援基幹病院を設け、より適切に対応できる体制を構築する。 ② 城山病院（※現精神医療センター）の改築に併せて後方支援病床を増床する。 ③ 措置入院に係る指定医診察に対する、診療所に勤務する指定医の協力・関与について検討を行う。	② ① 県内3ブロックの救急輪番制に対し、 ブロックごとに後方支援基幹病院 を置く体制を平成25年7月に構築。（平成28年4月～平成29年2月末現在 後方支援依頼件数： 12件） ② 精神医療センター改築のフルオープン（平成30年度中予定）に合わせ、 後方支援病床を3床→5床へ拡大予定 。 ③ ・措置診察に係る指定医の協力依頼先の拡充を図るため、平成27年度に県内の指定医を対象として、 措置診察への協力に関するアンケート調査 を実施。診察対応可能な時間帯や場所等を把握し、データを各保健所に配布。 ・平成28年度から、 G-Pネットを活用した措置診察の依頼を、各保健所の端末から実施可能な体制 を構築。						
4 身体合併症 ① 精神・身体合併症に対応できる病床の整備に努めていく。 ② 救命救急センター等と精神科病院との連携により、精神・身体合併症患者に対応できるシステムの構築に努める。	① ① 藤田保健衛生大学病院に 精神・身体合併症病床 32床 (平成25年6月～) ・愛知医科大学病院に 精神・身体合併症病床 2床 (平成26年度～) ② 平成25年9月から救急病院と精神科病院の連携モデル事業を開始。（平成27年度 連携実績： 84件） ・平成28年度からは、救急病院と精神科病院の双方向の連携を進めるため「 愛知県精神・身体合併症連携推進事業 」を実施。（平成28年度 事業参加病院数： 19病院、11ペア）						
5 専門医療 ① 東尾張病院の既存12床に加え、心身障害者コロニーに児童精神科病床を、城山病院（※現精神医療センター）に思春期病床を整備する。	① ① 平成29年度までに県として計47床を整備予定 ・心身障害者コロニー 児童精神科病床 25床 整備済み ・県精神医療センター 思春期病床 22床 整備予定（平成29年度）						
目標値 児童・思春期病床の整備 12床→59床 (県として47床整備)	平成27年度 47回開催、実人数22名（延べ207名）参加 平成28年度（2月末現在） 45回開催、実人数25名（延べ186名）参加						
② 精神保健福祉センターにおけるアルコール依存症患者への対応について検討していく。	② ② 精神保健福祉センターで、 認知行動療法を用いた依存症者の治療・回復プログラム を実施（平成27年度～）。						
6 認知症 ① 原則として2次医療圏に1か所の認知症疾患医療センターの整備を進める。	① 平成28年度、新規に2か所を整備し、名古屋医療圏を除く県内11医療圏のうち、9医療圏に整備済み。						
目標値 認知症疾患医療センター 7か所 → 11か所	認知症疾患医療センター 9か所 (名古屋市指定分3か所除く)						